



特集

災害時におけるこころのケア

〈特集 災害時におけるこころのケア〉
〈2018.4月～8月の活動報告〉

〈地域連携だより〉
〈看護師レポート〉

「特集」

『災害時におけるこころのケア』

今年は、大阪府北部地震を始め、西日本を中心として大きな被害をもたらした平成30年7月の豪雨災害、近隣では米原市竜巻災害など多くの災害が発生しました。

今回は、災害時における日本赤十字社の救護活動の重要な柱の一つであるこころのケアについて、日本赤十字社こころのケア指導員である 押谷 久美子 看護係長に豪雨災害で大きな被害を受けた倉敷での活動を中心に話を聞きました。

日本赤十字社のこころのケア

私たちは“こころの救急法”を基本として活動しています。これは、①支持 ②傾聴 ③共感 ④具体的な支援 の4つの要素で構成されており、特別な訓練を受けた赤十字の看護師が、被災者や支援者の心理社会的な支援を行います。

平成30年7月豪雨災害での活動

今回の倉敷での豪雨災害では、倉敷地域災害保健復興連絡会議に設置された日赤災害医療コーディネーターチームのこころのケアコーディネーターとして活動を行いました。被災地域のニーズアセスメントを行い、こころのケア班を編成。活動

管理・調整、実行計画を作成し現地の受入担当として助言を行いました。また、保健所チーム（DHEAT）や精神保健福祉センターとの連携を図りながら、災害派遣精神医療チーム（DPAT）との連絡調整にもあたりました。各地の救護所等に派遣されたこころのケア班は夕方には連絡会議に戻り、ミーティングをします。その日に得られた被災者等からのニーズを共有し、続いて開催される全体会議に報告、翌日からの活動を調整していきます。



被災地でこころのケアを必要とされる人々

「夫の手を離してしまい夫が濁流に沈んでいった」「隣人が流されていくのを見た」「災害が無いと思って引っ越してきたのに人生で二度も災害に遭うなんて」「救助の時に罵声を浴びた」、このようなところにダメージを受けた方の訪問や避難所の巡回は勿論ですが、行政や消防局、教員、地域の医療関係者の方にも、“支援者への支援”としてストレス症状の自己診断チェックができるスクリーニング表を使って、メンタルヘルスケアの推進活動を行いました。



こころのケア要員のためのこころのケア

「もっと何かできたのではないかと、力になれたのではないかと、どの災害医療現場へ赴いても思われます。そのような思いから、こころのケア班のケア要員に、なるべく心残りが無いよう“ケア要員のためのこころのケア”にも取り組んでいます。今回の私のコーディネーターとしての役割は日本赤十字社 岡山県支部に引き継いでいただき、現在は、岡山赤十字病院の「こころのケア班のホットライン」が担っています。

9東病棟 看護係長
押谷 久美子



日本赤十字社こころのケア指導員
認知症ケア専門士
赤十字救護班員



倉敷市保健所での日赤災害医療コーディネーターチーム



真備記念病院で病院スタッフへのこころのケア



保健所内での医療ミーティングでの報告



他の赤十字こころのケア班との情報交換

活動報告

5月 5月12日(土) はナイチンゲールの誕生日で看護の日

■看護の日PRイベントを開催／5月10日(金)

本館1階のエントランスホールで7つの健康ブースを用意して、外来患者さんを始めとした皆さんにご利用いただきました。内容としては、血圧測定・健康相談、体脂肪測定、ハンドマッサージ、かかりつけ医相談、3つのいきいき相談です。3つの“いきいき相談”は、「元気な高齢者を目指して生き生き相談」「病気になってもともに共存して生きるための生き生き相談」「健康なお口は元気の源・息息相談」です。服薬ゼリーや高カロリー栄養食のお試しや気分転換のドライフラワー、シルバー川柳の朗読は外来待ちのみなさまの笑い声で和やかな時間を過ごしていただくことができました。



6月 大阪にて救護活動を行いました

■大阪北部地震災害救護活動／6月18日(月)

6月18日(月)に発生した地震により、多くの被害の出た大阪北部地域に長浜日赤DMAT4名及び救護班5名を派遣しました。DMATは、三島救命救急センター内に設置された三島医療圏DMAT活動拠点本部で本部活動、また高槻市内の集合住宅でクラッシュ症候群疑いの患者診療を行いました。

続いて出発した滋賀県支部第2救護班は、茨木市内の避難所を巡回し、医療アセスメントにあたりました。



6月 米原にて救護活動を行いました

■米原市竜巻災害救護活動／6月29日(金)

6月29日(金)に発生した竜巻により多くの被害の出た米原市地域に救護班を派遣しました。初動班は、朝日・夫馬・北方地区を巡回し、医療ニーズ調査を実施するとともに、軽傷者の診療を行いました。第2班は朝日・夫馬地区の避難所及び住宅を保健師と巡回し、熱中症予防の呼びかけ、軽傷者の診療を行いました。



7月 院内に流れる優しいメロディ

■毎年恒例の七夕コンサートを盛大に開催／7月7日(土)

7月7日(土)毎年恒例の「七夕コンサート」が盛大に開催されました。入院中の患者さんとご家族と合わせて約130名の方々にご参加頂きました。

演奏は、『ウクレレアンサンブルKONANE』と当院看護職員を中心に編成された『オカリナ花音&モナ』による、「星に願いを」「上を向いてあるこう」「琵琶湖周航の唄」など、皆さんがよくご存じの曲を披露して頂きました。また、開催にあたり毎年たくさんの日赤ボランティアの方にご協力を頂いております。

この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。



7月 岡山にて救護活動を行いました

■平成30年7月豪雨災害救護活動／7月中頃

7月西日本を中心に広範囲に発生した豪雨により被害の出た地域に、日赤災害医療コーディネイトチーム(CoT)及び救護班を派遣しました。

CoTは、岡山県倉敷市保健所内に設置された「倉敷地域災害保健復興連絡会議(KuraDRO:クラドロ)」において日本赤十字社岡山県支部等の赤十字関係機関や他医療チーム、行政機関等と連携を取りながら、被災地内の医療ニーズに応じた救護班等による医療活動が効果的・効率的に実施されるように協議・調整を行いました。

救護班は、下原公会堂(総社市下原)において、地元の保健師等と情報を共有し連携を取りながら、仮設された救護所に体調不良を訴えて来られた被災者や被災地で支援活動をされているボランティア支援者の診療や保健指導、周辺住宅の巡回診療を行いました。



7月 湖北がんフォーラム2018に参加しました

■湖北でできる最新のがん医療／7月22日(日)

長浜文化芸術会館において、湖北がんフォーラム2018が開催されました。当院も共催として参加し、早期胃がんに対する内視鏡治療、胃がんや大腸がんなどに対する腹腔鏡手術、前立腺がんに対する手術支援ロボットでの治療について講演させていただきました。これらの治療は、傷が小さく、出血も少量で、術後の回復が早く、患者さま、術者ともに利点が多いものです。市民のみなさまにこれらの治療法を知っていただき、興味を深めていただくよい機会になったと思います。第2部は地域連携についてパネルディスカッションが行われました。かかりつけ医の役割、病院の役割、そして連携について議論がなされました。かかりつけ医を持つことの大切さ、目的に応じた連携の仕方について理解を深めることができました。



関西医事新報(2018年8月号)に楠井院長のインタビュー記事が掲載されました



関西医事新報から楠井院長がインタビューを受けた記事が掲載されました。長浜赤十字病院の所在する湖北医療圏の特色や在宅医療に関する地域との連携体制、今後の展望などについてお話しております。

当院のホームページにインタビュー記事を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

長浜赤十字病院

検索

地域医療連携課だより

長浜赤十字病院・連携医療機関のご紹介

✓ 長浜赤十字病院の役割とかかりつけ医との地域連携

本院は、急性期医療を行うとともに地域医療支援病院として、地域全体で適切かつ高度な医療サービスを提供する機関と連携しています。地域住民のみなさまに一貫した切れ目のない医療や介護を提供するために、病院間、病院ス事業所や訪問看護ステーションで診療情報の共有を行うびわ湖あさがおネットを活用しています。

✓ 住民のみなさまへ

よりよい医療の提供をしていくため、かかりつけ医（開業医）からのご紹介状（診療情報提供書）を持参しての
ご来院をお願いします。また、病状
が安定してきた患者さまには、ご紹介元診療所やご自宅近くの医院・クリニック（かかりつけ医）をご紹介させてい
ただし、病状変化があった場合は今後も当院で対応します。急病の際は当院救命救急センターで対応します。

るために、かかりつけ医・近隣医療
と診療所・薬局、そして介護サービ
ただいています。



医療法人みやこ みやこクリニック

佐武先生からのメッセージ

旧湖北町速水にあります。以前は外傷学、熱傷（形成外科、救急医学）と集中治療（ICU）を専門としていました。現在、外科系疾患を中心に診療していますが、関連疾病も垣根なく診療しております。



《医 師》 佐武 晃幸
《診 療 科》 外科、整形外科、形成外科、
内科、リハビリテーション科
《住 所》 長浜市湖北町速水2778
《電 話》 0749-78-1884
《往診診療》 無 《訪問診療》 無
《U R L》 <http://www.miyakoclinic.net/>

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:45～11:45	○	○	○	×	○	○
午後	15:30～18:30	○	○	○	×	○	○

※日曜日・祝祭日は休診です。

下坂クリニック

西村先生からのメッセージ

糖尿病や腎疾患を含めた総合的な内科診療や往診診療を行っております。また、透析患者さんの全身管理を充実させるべく8月1日より友仁山崎病院から永作大輔先生に来て頂きました。老健
琵琶を含め5名の医師が
可能な限り対応させて頂
きますのでお気軽にご相
談ください。



《医 師》 西村 正孝、湯本 義一
下坂 幸正、永作 大輔
坂東 哲朗
《診 療 科》 内科、糖尿病腎臓内科、
小児科、透析センター
《住 所》 長浜市下坂中町177-6
《電 話》 0749-62-0080
《往診診療》 有 《訪問診療》 有
《U R L》 <http://www.simosaka.jp/>

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	○	○	○	×	○	○
午後	17:00～19:30	○	○	○	×	○	×

※日曜日・祝祭日は休診です。

かがい医院

加賀井先生からのメッセージ

当医院は内科であります。病院の整形や外科等の継続処方に力を入れております。医院の近くには2か所の院外処方薬局があり、ほとんどの薬に対応できるようになっております。また、専門に特化した医療も大切ですが、広く全般の医療を診察しております。



《医 師》 加賀井 和幸
《診 療 科》 内科、小児科、放射線科
リハビリテーション科
《住 所》 米原市箕浦372番地
《電 話》 0749-52-9333
《往診診療》 無 《訪問診療》 無

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
午後	14:00～18:00	○	○	○	○	○	×

※日曜日・祝祭日は休診です。

西川歯科医院

西川先生からのメッセージ

祖父の代より来年で100年を迎えます。地域の皆さまのお口の健康向上に微妙ではありますが、貢献できることを目標として、患者
さんのお口の健康を第一に考えて診療しております。



《医 師》 西川 雅士
《診 療 科》 歯科、小児歯科
《住 所》 長浜市朝日町4-20
《電 話》 0749-62-0828
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
午後	14:00～18:00	○	○	○	×	○	○

※日曜日・祝祭日は休診です。

看護師レポート

～専門性の高い看護師が訪問看護師と一緒に訪問し、在宅療養のお手伝いをします～

がん性疼痛看護認定看護師 富永治美

皮膚・排泄ケア認定看護師 大音博美

在宅療養中の患者さんでどのような方が対象になりますか？

長浜赤十字病院では、がん性疼痛看護認定看護師や皮膚・排泄ケア認定看護師が訪問看護師に同行し、在宅療養中の患者さんに専門性の高い看護師によるケアを提供しています。

当院を退院された患者さんで、下記の項目に当てはまる方が対象になります。

1. 麻薬等による痛み止めを使用されている方や化学療法中の方
2. 深い褥瘡やストーマでお困りの方



がん性疼痛看護認定看護師によるケアの紹介

例えば内服薬や貼り薬・坐薬では痛みのコントロールが難しくなった場合、注射薬を使用し、入院中とほぼ同じように痛みをコントロールすることができます。がん性疼痛看護認定看護師が訪問し、患者さんやご家族への在宅用点滴ポンプの使い方の指導や、患者さんの痛みのアセスメント、医師への相談、注射薬の量を調整・増量し、患者さんにできるだけ安楽に療養生活を送っていただくためのお手伝いをします。

皮膚・排泄ケア認定看護師によるケアの紹介

例えば深い褥瘡のケアでお困りの場合、皮膚・排泄ケア認定看護師が訪問し、マットレスの選択や寝ておられる体勢など褥瘡ケアに関するアドバイスや調整をします。ストーマに関しては、便漏れが続く、周囲の皮膚がただれている等困っておられることが解決できるようにケアの検討や方法のアドバイスをさせていただきます。

自宅での療養生活中には、ケアに対して疑問や不安がでてくると思います。少しでも自宅で安心して過ごされるためのお手伝いができればと思っています。

ご依頼は、かかりつけ医より下記へお問い合わせ下さい

がん相談窓口（緩和ケア）：0749-68-3389

地域医療連携課（褥瘡・ストーマ）：0749-68-3314

今回の表紙

平成30年7月豪雨災害救護活動

今回の表紙は平成30年7月豪雨災害に出動した救護班の活動中の1枚です。岡山県総社市下原地区において、リヤカーに診療セット一式を積みこみ避難所・周辺住宅の巡回診療に向かっている様子です。発災から約2週間が経っていたこともあり、復興活動に取り組むボランティアの方々のこころのケアも今回の活動では重要でした。今後も長浜赤十字病院では、災害に迅速な対応ができるよう日頃より準備を進めて参ります。



理念

「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、やさしさのある全人的医療を提供します

基本方針

1. 患者さまの人権を尊重し、安全で高度な医療を提供します
2. 地域の保健・医療機関との連携を強化します
3. 救急医療を充実します
4. 災害救護、国際救援に積極的に参加します
5. 最善の医療を提供するため常に研修・研鑽に努めます

患者さまの権利宣言

1. 人権が尊重され、良質で適切な医療を受ける権利
2. 医療上の情報・説明を受け、同意したのち医療を受ける権利
3. 治療方法などを自らの意志で選択する権利
4. プライバシーが保護される権利
5. 他の医師等の意見（セカンドオピニオン）を求める権利



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長浜赤十字病院

滋賀県長浜市宮前町14番7号

TEL:0749-63-2111(代表)

URL:<https://www.nagahama.jrc.or.jp/>